令和５年度　自己評価結果

長居幼稚園

1、本園の教育目標

今やっておかないといけないことは何か、今しかできないことは何か。
人はひとりひとり育っている環境も、発達の段階も、性格や体質にも違いがあります。そのひとりひとりの違いを大切に考え、そのこどもにとって何が大事かを念頭に置き、集団での生活や遊び、自然体験を通して、生きていくための力、知恵、人としての心を育みます。

2、本年度、重点的に取り組む目標・計画

・年少児・年中児・年長児が遊びを通して交わり、互いに刺激を受け合い育ちあう。
・園舎の老朽化している部分の修理を行い、安全に快適に過ごせるようにする。

3、評価項目の達成及び取組状況

評　価　項　目	取　組　状　況
小さな当園の特徴でもある年長・年中・年少児がまじりあって遊び、遊びが受け継がれる様子をよく観察し、興味を持ち出した遊びの環境を整える。	年長児がしている登り棒てっぺん座りや大縄跳び、蝉取り、泥団子作りなどに憧れを抱き、交じって遊んでいる内に年長児からのアドバイスや手助けで出来て喜ぶ顔と、教えた相手が出来た時の嬉しさが連鎖していく様子が見受けられる。年長・年中・年少児がいろいろな遊びで交わり得意分野で教え合っている。
遊び込める時間を十分に取り、友達と遊びを発展していく楽しさを味わい、また、何日も続けることができる環境を作る。	すべて片付けてしまわず、遊び込んだ状況を維持することで、次の日もその遊びを発展させて遊び、そこには、また違った友達も加わっている。
ひとりひとりのこどもの違いを認め、その子どもの良さを評価していくことで、他児にも気づけるようにしていく。	国、言語、発達具合、性格、様々な違いを最初は戸惑いながらも、関わりを持とうとしている。最初は保育者の接し方を真似たりしながらも、自分で考えながらコミュニケーションを取り出す。
地域や外部の方々との繋がりを持ち豊かな人間関係を築いていく。	夏祭りなど大勢の地域の方々との交流も通常通り再開し、大勢が集まっての行事ごとも人数制限なく行うことができ出した。こども達は業者の方、工事の方、来園者、すべてウエルカムで受け入れ自ら話しかけに行く。

園舎の老朽化した部分の修理を行い、こども達が心地よく、安全に過ごせるように改修工事を行う。	園舎防水塗装、壁面塗り替え、屋上プールの日陰、テラスの人工芝、LED ライト入替え、ロッカー棚を大阪府の「木とふれあう木育推進事業」で国産ヒノキの棚に入れ替える。など、こども達が安心して生活できる場になるよう改修工事を行い、ヒノキが香る明るくきれいになった部屋で安心して過ごしている。

4、今後取り組むべき課題

・来年度から幼稚園型認定こども園になるにあたり、長時間園にいる2号の園児と夏休みの長期休暇もある1号の園児の差をどうしていくか。

5、財務状況

公認会計士監査により、適切に運営されていると認められている。